

文治主義の名君主徳川綱吉を犬公方と見下す現代日本人の逆さま。

'09/6/6.

＝<<歴史教科書とTV画像で簡単に騙せる現代日本人>>

徳川時代歴史は改ざんされてる。明治天皇制後の明治維新前日本史は見直しが必要、権力者にすれば今の時代より先代の時代の方がより幸福時代と民衆に知れば立場が危うい。それにしても一度日本人は心証を焼き付けられると其の変更は容易で無い。これは常に誤りで引きずられる破滅的欠陥を意味する。

#### [1]：生類憐みの令は悪法？いい法？：

6/14日 12ch 放映“決着歴史ミステリ”で「生類哀れみの令は悪法、いい法」を問う内容、結果は悪法75%、善は25%。6月4日(木)の内容：生類憐みの令は悪法？いい法？

<http://www.tv-tokyo.co.jp/rekishi/><時間経過ではリンク切れ>

一の説 「生類憐みの令は悪法だった」

突然襲ってきた犬を仕方なく斬り殺した侍が切腹となったり、子犬を捨てた辻番が引き回しの刑ののちに斬罪になるなど、“お犬様”に対する保護は常軌を逸していた。町には揃いの羽織を着た犬担当の警察「犬目付」が出現し、犬の扱いの悪いものを常に監視していたため、町人達は犬に関わりたくないと思っただけで逃げ惑っていたというのだ。また、ボウフラや蚊、シラミに蚤や蝨までも処罰の対象とされ保護されたため、町人達は普通の暮らしをすることが困難となった。さらに綱吉は、犬を可愛がるあまり、東京ドーム20個分に相当する広大な“犬屋敷”を作り、その中は、子犬専用の保育所、犬の食事用のレストランや病院までもが完備されており、まさにいたれりつくせりだった。人々の生活を脅かしたこの法律は、悪法だった！？

二の説 「生類憐みの令はいい法律だった」

江戸の町には、人口増加と共にゴミが増え、それをエサとする野良犬がどんどん集まってきた。不衛生なうえに、腹を空かした犬が人間を襲うといった事態を収拾するため、綱吉は犬の戸籍となる「犬付毛帳」を作成、犬を登録制にし、その動向を役人が管理することによって、江戸の町の治安維持に努めた。さらに、江戸の町に不安を与えていた「カブキモノ」の排除や、当時社会問題となっていた「捨て子」が減少するなど、生類憐みの令を出すことによって殺伐とした社会から、思いやりのある社会に変えようとしたのである。実際の番組ではドイツ人と日本人歴史家の良い法との説を紹介してるが結果は悪法。

[2] : 文治主義治世(1680-1709)の綱吉元禄時代は鎖国日本が最も幸福な時代だった? !!

(1)先代家康の欣求浄土の実現 :

然るに上記結論は以下サイトを読むと一変する。其の鍵語は**武断政治**から**文治政治**への大変革、現代語で言えば関が原前後の生命軽視思潮の軍事政権から平和経済と文化追求の文民政治への大転換にある。家康の政治表題 = **欣求浄土**(戦乱の無いこの世の浄土(天国))をまさに実現が綱吉らしい。

<http://mamesaku.livedoor.biz/archives/50923824.html>

徳川綱吉は篤学の人物。幼い頃から桂昌院に学問を勧められ、その教えを守り、将軍になってからは諸大名に経書の講義をするまでになります。特に孝道を儒教から学び、多いに感化され、桂昌院への孝行ぶりは大変有名です。「上の好む所下これよりも甚だし」ですから、諸大名、諸旗本も武芸はそっちのけで勉強をするようになりました。それに困って林信篤をはじめ、新井白石、室鳩巢、荻生徂徠などの高名な儒学者を大量発生し隆盛を極めます。そもそも綱吉が考える生類を憐れむ心は儒教の仁愛、慈愛の精神に基づいています。

[http://d.hatena.ne.jp/aya\\_natu/20090115/1232014055](http://d.hatena.ne.jp/aya_natu/20090115/1232014055)

(2)政策インフレ?で上方ルネッサンスの元禄時代を演出!:

綱吉前の将軍は寺社仏閣建立等で幕府は赤字財政だった。そこで将軍顧問と相談の上で市中の小判を集め、まがい物を混ぜて小判増刷によって赤字脱却に成功、他方では**軍事社会**から**平和社会実現**は過去に類例の無い町人経済勃興と其の余禄が生み出す現代日本文化源流になる各種文芸芸術、科学の興隆を見る**元禄ルネッサンス時代**を演出する事になる。因みに生活慣習としての食事が2度から今の3度になった事は画期的な農業食糧供給でも大成功だった事が判る。**僅かの短い時代に一斉にこれだけの花が開くとは驚愕。**

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%83%E7%A6%84%E6%96%87%E5%8C%96>

[http://www14.plala.or.jp/hiro\\_1/nihon/kinsei/005.htm](http://www14.plala.or.jp/hiro_1/nihon/kinsei/005.htm)

[3]:生類哀れみ令から垣間見る現代日本人心理 :

問題番組は「悪法だった」では劇画像で印象し、「善法だった」では学者言葉解説だった。其の結果が75%悪評価だから、**学校教育**での心証とTV画像心証がよく**焼き付け**られてる事が判る。科学者権威(?)をもってしても言葉解説の方が弱いと言うヤバイ結果が見えた。だがそれだけでない、近年日本の際立った**社会事情悪魔化**が自分周囲人間への不信、しいては自国歴史への不信が背景に培養されてるのだ<鳩山氏の友愛社会提言は時期整合>。それにしても**漫画とビデオ映像**の文化は明らかに**思考停止**を促進してると判断される。学校教育と画像マスコミが国民心理思潮形成で重大な事は明らかである。もう一度**思考想像空間**を育む活字文庫本の時代復帰が必要なのだろう。